

うた

街の詩をつづけて

あの時を想う

2011年3月11日から14年目の日です。在仙の詩人 武田こうじは震災後、被害の大きかった市内沿岸部の失われた暮らしを取材し、**「RE:プロジェクト通信」**に詩の連載をしてきました。また、音楽による被災地からの復興支援を掲げて活動する**「復興の詩(うた)プロジェクト」**では6曲の詩を作詞してきました。そして2023年からは、せんだい3.11メモリアル交流館にて**「13の詩/ソネット」**の連載展示をしています。このコンサートでは、これまでに紡いできた詩の朗読と、作詞した曲のソプラノ独唱をお送りします。わたしたちの街の詩にふれながら、大切なことを想う時間を過ごしませんか。

2025年

3月11日(火)

15時00分開演(14時30分開場)

終了は15時45分を予定しています。

詩の朗読と
ソプラノ独唱

〈出演〉

武田こうじ(詩人)

尾留川諒子(ソプラノ)

工藤光紗(ピアノ)

入場無料・申込不要

会場に直接お越しください

〈会場〉

仙台銀行ホール
イズミティ21
大ホールホワイエ

主催：公益財団法人仙台市市民文化事業団

制作：仙台銀行ホール イズミティ21

(仙台市市民文化事業団・東北共立・石井ビル管理グループ)

協賛：仙台銀行

協力：せんだい3.11メモリアル交流館、復興の詩プロジェクト実行委員会

お問い合わせ：仙台銀行ホール イズミティ21 (Tel. 022-375-3101)

てがみ

ときのながれにそっと てをのぼすように すなはまにゆれる いっぽんのき
ことばにできない そんなことばにかこまれて まちはないた
あれもこれも あいしていた
あのひから わからない くりかえし てがみをかいている
ここであなたとであい ここであなたとくらし ここであなたにふれる

武田こうじ（詩人）

詩集の刊行、ポエトリー・リーディング・ライブをさまざまな場所で開催。東日本大震災の津波被害が甚大だった市内の沿岸部地域を訪ね歩き、フリーペーパー「RE:プロジェクト通信」（仙台市市民文化事業団発行）を制作。平成27年度東日本大震災仙台市追悼式で詩の朗読を行う。仙台市立富沢小学校、仙台市立錦ヶ丘小学校、丸森町立丸森中学校、丸森町立丸森小学校、丸森町立館矢間小学校の校歌を作詞。

びるかわ 尾留川諒子（ソプラノ）

仙台市出身。中学校在学中に合唱を始め、仙台南高等学校在学中に内藤淳一氏のもとで音楽を学び、16歳から声楽に取り組む。第65回全日本合唱コンクール東北大会出場。街角コンサートや復興の詩プロジェクト等に継続して参加。宮城教育大学教育学部中等教育教員養成課程音楽教育専攻を卒業。声楽を松尾英章、原田博之の各氏に師事。現在は仙台室内合唱団「紡輝」に所属し、各種合唱コンクールにて東北大会、全国大会に出場。

ありさ 工藤光紗（ピアノ）

仙台市出身。5歳からピアノを始める。宮城教育大学教育学部中等教育教員養成課程音楽教育専攻を卒業。第28回JPTAピアノ・オーディションB部門全国大会出場・第38回東北支部特別賞受賞、第14回東北ショパン学生ピアノコンクール高校生の部本選入選。佐藤若子、岩倉敦子、倉戸テルの各氏に師事。社会学級での演奏活動やホテルでのロビーコンサートなどの演奏活動を行っている。

